

私たちは、新型コロナウイルス禍の中で社員が安全に働ける環境作りと安心・安全な工事施工のため社内、工事現場内での感染予防対策に取り組んでいます。

○工事現場における新型コロナウイルス感染症予防対策の取組み

1. 工事施工前の朝礼・KY活動

- ・朝礼時の作業員間隔を開ける（作業員間 2m程度）
- ・マスクの着用
- ・伝達事項はポイントを絞り時間を短縮
- ・入場時の非接触体温計による体温測定と記録

2. 工事施工中（作業時）

- ・作業中はマスクの着用
- ・貯水槽内はダクトファンを用いた連続換気
- ・貯水槽内はヘルメット・防毒マスク・ゴム手袋の着用
- ・貯水槽内は適時、次亜塩素酸ナトリウム 60PPM を用いて消毒
- ・貯水槽内へ持込む工具や器具の消毒
- ・使用する車は運転前にハンドルや操作レバーを消毒
- ・車に複数で乗車する場合はマスクの着用
- ・現場における建物共用部のドアノブ、門扉、フェンスのレバーは開閉の度に消毒

3. 休憩時間

- ・休憩前のうがいと手洗いの実施
- ・休憩時間の分散化（特に喫煙休憩は指定された場所で単独で行う）
- ・休憩中は作業員間の距離を保つ（2m以上）
- ・不必要な会話や大きな声での会話はしない
- ・昼食時は特に作業員間の距離をとる

○社内における新型コロナウイルス感染症予防対策の取組み

- ・入室時の非接触体温計による体温測定と記録
- ・手洗い・アルコール消毒の実施
- ・打合せを必要とする場合は、時間を区切り、マスクを着用し、間隔を開け、仕切版を通しての実施
- ・インターネットを活用した業務の推進
- ・外来者へのアルコール消毒の依頼